

高校剣道段位審査会要項

- 1 日時 令和5年8月21日(月) 8:30開場
2 場所 埼玉県立武道館(主道場)
3 受付 すべての段位の受付を8:30より行います。(受付終了9:00)
武道館2階より検温をして受審者のみ入館。

4 費用

	初 段	二 段	三 段
審査料	3000円	4000円	5000円
(再審査)	600円	800円	1100円
登録料	5500円	7500円	11000円

登録料は、当日合格発表後に会場で納入していただきます。お釣りのないようご準備ください。

5 受審資格

- ・高体連関係者のみ(埼玉県高校剣道連盟の会員登録をしている者)
 - ・初段は、一級取得後30日を経過した者(都道府県はどこでも可)
 - ・二段は、初段取得後1年を経過した者(//)
 - ・三段は、二段取得後2年を経過した者(//)
- (二、三段受審者の取得経過年数は、同月であれば日数不足は受審可能)

6 申し込み方法

- (1) ①申込個票、②学校団体申込書、③審査料 を揃えて提出してください。
- ・申込個票は高体連剣道専門部HPよりダウンロードしてください。
記入例は別紙の通りです。男女で用紙が異なるので注意してください。個票の下段に部員登録番号(9桁)を記入する欄があります。
 - ・学校団体申込書も高体連剣道専門部HPよりダウンロードしてください。
個票の枚数と学校団体申込書に記載されている人数が一致するように確認してください。
- (2) インターハイ県予選会(6月13日:男女個人、6月20日:男子団体、6月21日:女子団体)の午前中に、会場の指定された場所で、各学校の顧問が申し込んでください。
(申込後の審査料の返金は原則として致しません)
- ・大会に参加しない学校については、現金書留にて深谷第一高等学校・小林まで
6月8日(木)必着で申し込んでください。その際は、その旨電話でご一報ください。
(048-571-3381)
 - ・6月25日(日)の1級審査合格者に限り、その時点での初段の申込は受け付けます。

7. 学科問題

- ・解答用紙は高体連剣道専門部HPよりダウンロードしてください。問題は解答用紙に記載してあります。(段ごとに別の用紙になっているので注意)
- ・指定用紙の氏名・性別の欄は必ず記入しておいてください。受審番号だけは審査当日に指示された番号を記入します。
- ・解答は手書きとし、指定用紙一枚(A4)に収めるよう作成してください。筆記具の種類は特に問いません。
- ・指定用紙以外での解答は受け付けません。
- ・解答用紙は審査会当日の受付時に回収します。

8. その他

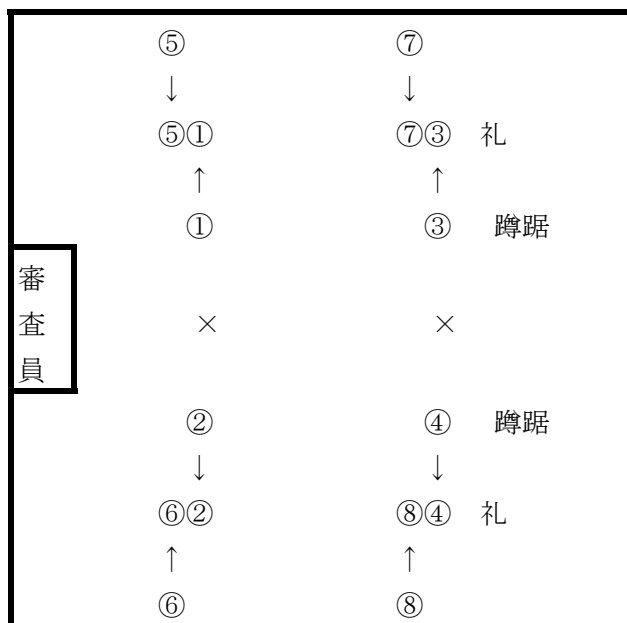
- ・実技試験の内容については下記の10及び別紙を参照してください。
- ・受審の際、全日本剣道連盟の「審査会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」「県大会実施における感染症拡大防止対策」に基づいて実施します。
- ・待機している時には、人と人との距離を常に保つようお願いします。
- ・受審者は、面をつけた時は、面マスクまたはマウスシールド(市販品もしくは全剣連推奨品)を着用。また、日本剣道形の審査でもマスクの着用をお願いします。
- ・合格発表は閉会式終了後に会場にて行います。その際合格者は、登録料を納入していただきますので、現金の準備をお願いします。
- ・今後変更がある場合は高体連剣道専門部HPにて連絡致します。顧問、受審者は必ずご確認ください。

9. 過去の段審査会 (個票の現段位受領年月日記入時の参考にしてください)

令和2年 1月12日(高校)、2月2・9・24日(四地区)、8月12日(高校)、10月4・11・25日(四地区)
 令和3年 1月30日(高校)、2月11・14・21日(四地区)、8月21日(高校)、10月3・10・30日(四地区)
 令和4年 1月6日(高校)、2月13日(四地区)、8月11日(高校)、10月8・9・16日(四地区)
 令和5年 1月9日(高校)、2月12・26日(四地区)

二段受審資格…令和4年8月以前に初段を取得した者(8月中も可)
 三段受審資格…令和3年8月以前に二段を取得した者(8月中も可)

10. 実技審査の礼の要領について



実技審査の要領

1. 受審番号順に整列し、審査が近づいたら面を着け、静かに待つ
2. 前の者の審査が終り、蹲踞し5歩下がるのに合わせ、後ろで待機していた者が前に出て礼を合わせる。
(終りの礼と始めの礼が合う様にする)
号令はかけないので、お互いに呼吸を合わせて行う。
3. 2回目の立ち会いは、偶数番号を入れかえて行います。(左図では②と④を入れかえるという意味です。)

受審人数の関係上、3人組で行う場合があります。その際は、当日該当者に説明します。

剣道段位審査の実技について

① 稽古（立会い）（4人2組または3人1組）

（1）初、二段

1回目：「切り返し始め」の号令で奇数番号より切り返しを行う（偶数番号が元立ち）。終わったら偶数番号が切り返しを行う（奇数番号が元立ち）。終わったら開始線に戻り「稽古始め」（計測開始）の号令で稽古を行う。40秒を目安に「止め」の号令で開始線の位置に戻り、「それまで」の号令で納める。

※切り返しは「正面－左右面（前4本、後5本）2回－正面」この後にもう1度正面を打って最初の位置に戻る。

※1回1回ゆっくり止めて打つ切り返しではなく、連続動作での切り返しを心掛ける。

2回目：偶数番号が入れ替わり、相互の礼で蹲踞し「稽古始め」（計測開始）の号令で稽古のみを行う。40秒を目安に「止め」の号令で、開始線の位置に戻り「それまで」の号令で納める。

（2）三段（切り返しを行わない）

相互の礼（計測開始）で蹲踞し、「稽古始め」の号令で稽古のみを行う。1分を目安に「止め」の号令で開始線の位置に戻り「それまで」の号令で納める。偶数番号が入れ替わり、1人目と同じ方法で2回目の稽古を行う。

② 日本剣道形

初段 太刀1～3本目までの「打太刀」「仕太刀」のどちらか一方を行う。

二段 太刀1～5本目までの「打太刀」「仕太刀」のどちらか一方を行う。

三段 太刀1～7本目までの「打太刀」「仕太刀」のどちらか一方を行う。

※不明な点がございましたら、秀明高校 杉山（TEL 049-232-6611）までご連絡ください。